

白井第三小学校区まちづくり協議会 第15回設立準備会 議事録

書記:大野 彰
齋藤一夫

日 時 令和3年7月11日(日) 18:30~19:00

会 場 富士センター大集会室

出席者 委員27名

支援チーム 5名 市民活動支援課 4名

配布資料 ①白井第三小学校区まちづくり協議会 第15回設立準備会内容項目

②みんな de まちづくり VOL.06(モノクロ印刷)

③白井第三小学校区まちづくり協議会 第14回設立準備会 議事録

④白井第三小学校区まちづくり協議会設立準備会委員一覧(令和3年7月11日現在)

司 会 市民活動支援課 保科係長

広報担当委員と支援チームとで「みんな de まちづくり VOL.06」を作成し配布をしたかったが市より不要不急の回覧配布物を止められているため今回は配布ができていない。カラーで印刷されたものは富士センターにおいている。希望があれば市民活動支援課で印刷のうえ渡すことができるのでその旨連絡下さい。

島森会長挨拶

本日はすでに4時頃よりそれぞれの委員会を開いている。

第15回設立準備会の主な議題は、これまでの規約検討委員会及びまちづくり計画検討委員会の結果

を皆さんと共有することですので協力をお願いします。

1. 第14回準備会のふりかえり(第14回準備会議事録参照)

保科係長報告: 今回約1か月半の間、皆さんが集まる機会が無かったので簡単に議事録で説明をする。

- ・ 年度が変わったため新しく加わられた自治会長を紹介。
- ・ 「まちづくり協議会」の拠点について島森会長より報告があり、富士センター1階の現在地区社会福祉協議会が使用している事務スペースを拡大し、地区社会福祉協議会と一緒に事務所・拠点として使うことになった。
- ・ 「まちづくり協議会」設立までの見込みスケジュールについての話し合いを行った。
- ・ 「まちづくり協議会」としてスタートを切るため、一応設立総会の見込みを10月として皆さんに資料を配った。
- ・ まちづくり計画の策定方法として、本日「防災」と「8分野」の二つの委員会に別れてまちづくり計画で作った素案を集約する作業を行うこととなり委員を決定した。
- ・ 以上が前回会議の振り返りです。

2. 各検討委員会からの中間報告

特に配布資料の用意はないが、それぞれの委員会から中間報告をお願いしたい。

①規約検討委員会(島森会長)

これまでに 3 回の会合を持ち、活発な議論を交わしてきた。その結果今日までにはほぼ固まった内容をかいつまんで申し上げる。

「組織」としてはほぼこれでよいという組織図ができています。その一番上に総会、次に役員会(会長、副会長 2 名、会計正副 2 名、幹事 5 名)、役員には入らないが事務局を設ける。その下には 7 つの部会を予定している。

「部会の名称」については現在行われている計画検討委員会(防災)、まちづくり計画検討委員会(8 分野)の会議の結果をもって正式な部会をいくつにするかを検討していくことになっている。

「規約」については第三小学校区のまちづくり協議会としての独自の規約を目下検討している。詳細についてここで皆さんに発表するまでには至っていない。本会の後で第 4 回の会議を開くことになっているが、後 2 回程度の会議が開かれる予定でその後規約の詳細部分が決まってくるのではないかとと思われる。

現段階では口頭での説明になったが、近々正式に決まった内容を検討して頂けるよう努力していきたい。

②防災委員会(橋本委員)

6 月 27 日に防災についてのまちづくり計画の目標・取り組み内容等を検討した。メンバーが防犯交通安全ワーキンググループより橋本委員、地域交流ワーキンググループから森岡委員、子育て福祉ワーキンググループから斎藤委員、担い手ワーキンググループから龍野委員、富士西自治会長の吉澤委員、支援チームより元田、今井、松岡、保科、袖山各氏のメンバーで検討を行った。

議題としてはまちづくり計画案の作成について、事前に配られた資料に基づき説明を行った。

各ワーキンググループからは次の意見があった。

「防犯交通安全ワーキンググループ」としては「人を育てて組織を作り活動をしていく」ということで人づくりが重要であるとの考えのもとに進めてきた。

「地域交流ワーキンググループ」としては災害が起こる前に備えるのか或いは起きた後の対応か、どこに重点を置くべきかとの考え方もあるということであった。一致協力をするためにはお互いの顔を知らなければならず、そのためにはコミュニケーションそして挨拶が重要である。

「子育て福祉ワーキンググループ」としてはどのような箇所に危険があるかを重要と考え一番にマップを持ってきた。市より配布されたハザードマップよりさらに地域のことを入れたマップがあると良い。

「担い手ワーキンググループ」では子どもをメインで考える。その中で実施しやすいものを考える。小学校の協力も必要になるが大人だけでなく子どものリーダーも育てていく。

以上の各ワーキンググループの報告を踏まえ、基本方針についてのキーワードは地域、挨拶、子ども、生命、財産、防災、隣組、コミュニケーション、近所等である。取り組み内容におけるキーワードとしては、人、組織、実行。どこに重みを置くか減災、防災。どこに危険があるか地域に特化。

子ども目線で防災マップ。やれるところからやろう。防災リーダー。子どもと大人。というものであった。

出された考え方・意見としては、防災訓練はやるべきである。今年度は無理かと思われるが、来年

度はできるのではないかと。現在、自治連合会の第三小学校支部で防災訓練の主体となっている。

令和3年度の実施について消防署に相談を行っているところであるが現在前向きに検討することによって進んでいる。防災ではなく日常生活がもとに戻る復興の方が大切ではないかとの意見もあった。

災害からどのように命を守っていくか。防災連合についての意見として、コロナ禍で立上げの動きが止まっている。設立に関わっている人に対し災害が起こってからでは遅いのではないかと。

自主防災組織のある自治会等については防災リーダーがいると思われるので、その人達と団体の連合体が防災連合になるのではないかと。実際に災害が起こった場合、どう動けばよいか。2年前の台風で信号が止まった時にはいろいろなことがあったのでその時のことを思い出し考えていきたい。訓練についてはリーダー向け HUG など、そして市民向けの防災訓練がある。マップは第三小学校に特化した大人だけではなく子ども目線を取り入れたマップが必要。誰が中心となってマップを作成するかについては防災リーダーが中心となって作っていくべきである。

目標の基本方針の案としては自助と共助で地域の防災力アップをしていく。

以上が防災委員会の経過についての報告である。

③8 分野委員会(松田委員)

最終的には8分野を取捨選択し次の5分野となった。

第1位の「防犯と交通安全」については単独とする。

第2位は「福祉健康と子育て支援」で第3位、4位を意識しつつ単独事業とする。

第5位、6位の「担い手と交流」は類似の事業となるので合体し「担い手」とする。

「地域環境」、「環境」に関しては事業内容を加味しつつも独立分野としては取り扱わないことを選択した。

上記の絞り込みを行った中での意見として、情報の収集を行い共有していくことで新たに広報部会ではないが、皆からでた意見がそれぞれバラバラでは伝わらないため皆に発信していけるものを作っても良いとの意見を提案させて頂きたい。

保科係長： 上記3つの委員会の議論の中間報告を行って頂いた。それらについて質問は？

質問が無い場合特に質問は無しということにする。

議題2については以上で終了とする。

3. 次回の設立準備会について

防災に関しては本日で話し合いが終了し報告の体制がとれるようになったが、8分野の委員会については後1、2回の打合せで終わると思われる。規約検討委員会も本日の後で打合せ会議を行うがその後1回ぐらいの会議が必要になると思われる。

そのため各委員会での話がきちんとまとめられ報告ができる体制になってから次回の準備会を開催するというので、日程の方は事務局に任せてもらうことによいか。(了承された)

4. その他

本日名簿が配布されたが、新たに地区社会福祉協議会から委員として海保さんに参加頂くことになったので紹介をさせてもらう。

自己紹介： 南園区に在住の海保益子です。未知の世界ですのでよろしくお願いします。

島森委員長:これまでは井川委員は第三小学校区地区社会福祉協議会として出席をしていただいた。しかし井川委員が西部地区民生児童委員連絡協議会の代表として参加頂くことになったため海保さんが地区社協より参加頂くことになったのでよろしくお願いいたします。

保科係長： これをもって本日の第 15 回設立準備会を終了する。

次回の第 16 回設立準備会については日程が決まり次第事務局より皆さんに連絡する。

以上